

**目標の海外ホテル勤務のため
留学からインターンへ！直線！**

「子どもの頃から、海外がぶれたっただけ」と語る奥田さん。家族旅行でハワイやグアムなどに行くうちに、現地のホテルで働く日本人スタッフにあこがれを持つようになったという。

海外でのホテル勤務という夢に向かって、高校時代はオーストラリアに留学。ここで、同じように留学に来ていたアジア人と知り合った。

「ベトナム人、イラン人、中国人……、いろいろな国籍のアジアの友達ができ、もっとアジアのことを知りたい、関わりたいと思ったんです」

こうして働く舞台をアジアに決めた。大阪でのホテル勤務で接客を学んだ後、海外のホテルで経験が積めるインターンシップに応募する。

数ある受け入れ先の中から選んだのは、カンボジアのシェムリアップ。世界遺産・アンコール遺跡のある街で、治安の回復に伴って5つ星ホテルが急増しており、一流の職場で働けることが魅力だった。その中でも特に名高い「ル・メリディアン・アンコール」でのホテルインターンが始まる。業務は主に、日本人客担当のゲストリレーションだ。

このインターン期間を通して、接客技術や、専門的なビジネス英語などを学び、スキルアップしていく。また、要人のアテンドを担当することもあった。

「インターンを始めて間もない頃に、安倍元総理がいらしたかったです。ほかにも高級官僚の方がたくさんいらして、とても緊張しました(笑)。本来なら総支配人が担当するようなゲストのアテンドも任されて、度胸がきました」

**正式採用後はホテル激戦区の
バンコクフロント業務**

やがてインターンから正式採用となり、同じホテルに就職。そしてさらなるステップアップを目指して、系列のホテルに異動。超一流ホテルが林立するタイ・バンコクでも名門の「ロイヤル・オーキッド・シェラトン」でフロント業務を担当し、日本人客だけでなく、鍛えた英語力で各国のゲストたちに対応する毎日を送っている。

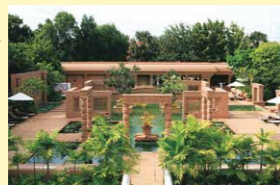
「所属はフロントですが、さまざまな仕事に関わらせてもらっています。またタイでも、政治家や有名企業の社長さん、芸能人などVIPの担当をさせていたでいて、とてもやりがいを感じますね」
もともと接客が好きで、仕事自体が楽しく、日々を充実して過ごしているという奥田さんだが、大変なこともある。「何よりもタイ語が問題です。タイ人ス

私のインターン時代

**アンコール遺跡にほど近いホテルで
さまざまなことを学んだ日々**

シェムリアップでのインターン時代は、働いていたホテルに泊まって生活していました。専門的なビジネス英語の読み書きや、オフィスマナーなど、国際社会で働く上での基礎的なスキルを学び、また幅広い接客業務を経験したことが今につながっています。インターンというよりも、スタッフの一員として扱ってもらえたことに、やりがいを感じていました。素朴で優しいカンボジアの人々も、とても印象に残っています。

アンコールを代表するホテル「Le Meridien Angkor」は2004年にオープンした5つ星ホテル。ワールド・トラベル・アワードでも多数の受賞歴がある



ホテルの気さくな同僚たち
ホテルでも働いていたカンボジア人スタッフたち。おおらかで優しい人々ばかりだったという



多忙なフロント業務
チェックイン・アウトに始まり、電話の対応、館内施設の予約に街の観光案内、任された仕事の内容は多岐にわたる



**観光地で
働く楽しさ**

休日、ホテルのスタッフたちと一緒に遺跡観光をすることも。シェムリアップは見学しきれないほどの遺跡の宝庫だ



特別なイベントでも活躍

2008年ニューイヤーのカウントダウン、ガラディナーの司会をした時の様子。日本人のゲストが多かったのが披露された



社大なアンコールワット

カンボジアまで遊びに来た家族を連れて、遺跡巡りに出かけた。アンコールワットの本堂をバックに、みんなでポーズ

ホテルインターンならココにおまかせ！

**株式会社ホスピタリティ
トラジャルインターンシップ**

トラジャルインターンシップで扱うインターンシップ・プログラムの費用は、1年間で65万円。高級ホテル、クルーズなど研修先は多数あり、自分に合った受け入れ先を紹介してもらえます。インターン期間中は、宿泊、食事、おこづかいを提供してくれる受け入れ先がほとんどで、年間の総費用は留学やワーキングホリデーの2分の1から3分の1ですむのが特徴だ。興味のある方は、無料セミナーや個別説明会に参加してみよう！

お問い合わせ

☎03-5386-3081 (東京)

☎06-6578-0202 (大阪) グループ内取扱店(株)トラジャルウエスト

www.trajal-internship.jp/

プログラム一括資料請求 NO.TRJ1999-45A

**奥田莉江さんの
History**

16歳 オーストラリアで留学生活を送る。なかなか英語が上達しなかったため、日本人留学生のいない学校に転校。英語漬けの生活を送って語学力を鍛える。

19歳 大阪のホテルで派遣社員として働く。主にレストランやウェディング、バンケットなどの業務に従事し、接客業のノウハウを吸収する。

21歳 インターンシップ・プログラムに応募。カンボジアのアンコールワット遺跡の街、シェムリアップの一流ホテルで働く。1年後に正式採用となり、正社員に。

23歳 ステップアップのために系列のホテルに移籍。タイの首都バンコクにある5つ星ホテル「ロイヤル・オーキッド・シェラトン」のフロント業務を担当する。



「よくみんなで食事に出かけたりするんです」と、同僚たちとは和気あいあいとした雰囲気



スタッフが皆、英語が堪能なこともあり、タイ語の勉強はまだだ。「これからがんばります」と奥田さん



「Royal Orchid Sheraton Hotel & Towers」は、チャオプラヤー河畔に立つバンコクを代表する5つ星ホテル

チェックイン・チェックアウトの業務など、世界中から訪れるゲストに対応する



奥田莉江さん

カンボジアで
ホテルインターン
↓
高級ホテルに
就職！

**高校留学からステップアップ！
インターンでスキルを身につけ、
バンコクの高級ホテルで活躍中**

取材・文/室橋裕和 text : Hirokazu Murohashi 撮影/嶋 健雄 photo : Takeo Shima



Rie Okuda

フロント業務全般を担当。ときには政治家や官僚など日本人VIPのアテンドにつくこともある